

読者のお便りから

○大阪に単身赴任しているのを好機に何度か公開講座に通ううちにすっかり同志社ファンとなり「同志社時報」愛読者となりました。慶應の「三田評論」東海大の「望星」に似た体裁で、レベルの高さに感銘を受けております。同志社の歴史に関心がありシリーズ連載、また他校（特に京都の他大学）から見た同志社、早稲田との交換留学生から見た「同志社と早稲田」などの企画に期待しております。また、キリスト教色がもう少しあってもよいと思います。（東京都 属増 聡）

○平素は同志社校友会別府クラブに同志社時報をご恵贈いただきありがとうございます。私こと昭和23年春大成寮に入寮の者です。当時は愛宕郡岩倉村大鷲町でした。1年生の夏休み前で退寮しました。3年間岩倉の忠在地に下宿しました。128号「岩倉校地の古墳時代集落」をなつかしく読ませていただきました。大成寮のなりたち、戦後65年の歴史、経過をおまとめいただければ幸いです。「京都岩倉桓武の昔、都護りの経蔵建てた千

代の誉れのあるところ」という岩倉音頭があります。（別府市 梶原三郎）

○グローバル化の社会にあつて、その変化に対応し、ますます発展する母校の姿に感動しています。衰退する活字文化の時代ですが私のような高齢者には同志社時報、One Purpose、同志社タイムス等が母校を知る情報源です。また、懐かしい建物、校舎を口絵にした企画はすばらしいことと思っています。今後も継続して拝読できますことをうれしく思っています。（枚方市 西元俊雄）

○西田毅先生（人物誌の執筆者）から129号をいただきました。先生ご執筆の人物誌（平田久）もさることながら、巻頭の座談会（中国の台頭と日米中関係の現状・未来）が大変勉強になりました。平素、サラリーマン生活終了後なので、新聞をよく読んでいるんですが、現在のマスコミの報道にない、中国の現状が語られて、おおいに参考になりました。貴誌が、同志社の学術・人事関連だけでなく、こうした記事も掲載されるのであれば引き続き読ませていただきたいと思

います。（京都府 前田礼二）

○私は大学内で本冊子をいただきました

が、無料であるにもかかわらず、内容が非常に充実していることに驚きました。また、専門的な事柄と一般に興味をもてる事柄のバランスが良く、読みやすかつたように感じました。（尼崎市 長谷川裕也）

○昨秋（09・11）のReunionに参加。時報をいただき母校の全体像、11年国際学院の開校、学長の講演等同志社の存在感を再認識しました。少子化時代の対策、大変ですが慶應、早稲田に匹敵する格付会社の評価心強い限りです。同志社タイムス、ワンパーパス等常に愛読しています。（高槻市 池田 稔）

○「マンガで読む新島襄 自由への旅立ち」（英語版）を希望いたします。退職後、英語の非常勤講師として勤めております。授業で「襄」の旅立ちを生徒に紹介できればと願っております。「時報」を毎回楽しく拝読しています。（新潟市 隅田尚武）

訂正

129号「読者のお便りから（120頁）」に誤りがありました。原文のとおり訂正し、お詫びします。（係）

中段14行目 ×始めて ○初めて